



4月の新着絵本



4月9日(土) 貸し出し開始

アンジュール ある犬の物語	殺処分ゼロを願って描かれた手作り絵本が待望の書籍化。「きっとあなたも、ほくに会えるのをまっているよね…」目を逸らしてはいけない現実。大切な方へ、この本を届けてください。ある日捨てられ、にわか野良になった犬のさすらいをたどって描く。
ガブリエル・バンサン	
はたるくまのハンバートとロンドン市長さんのはなし	ハンバートは、荷車をひく馬でした。くずてつあつめのファーキンさんと一緒に、働いていました。ロンドンの市長さんが乗る金の馬車を誇らしげにひくビール工場の馬たちを羨ましく眺めていると、そのとき…。
ジョン・バーニングム	
てがでかこちゃん	「わたしへんかな？」によりそう絵本 保育園で手がでかいのはでかこちゃんだけ。 でも、手がでかくて良かったことたくさんあるよ! 「みんなとちがってあたりまえ」を元気に描く。
白石 一文	
ごんぎつね	兵十が病気の母親のためにとったうなぎをふとしたいたずら心から奪ってしまったきつねのごん。 せめてものつぐないにとごんは、こっそり栗や松茸を届けつつづけますが、その善意は兵十に伝わらぬままに思いがけない結末をむかえます。
新美南吉	
森のおくから	これは、いまから100年ほど前に、カナダでほんとうにあった話です。 アントニオは、深い森にかこまれた、みずうみのほとりにすんでいました。ある夏、おそろしい山火事がおき、人間も、動物も、必死に生きのびようとしたそのとき……。 人間と動物の思いがけない出あいを繊細に描いた、胸に迫る絵本です。
レベッカ・ボンド	